<table>
<tr><td>種名</td><td>

ツ　　バ　　メ

Hirundo rustica

</td></tr>
<tr><td>分類</td><td>スズメ目ツバメ科</td></tr>
<tr><td>特徴</td><td>人家の軒先に巣を作る燕尾服の鳥。北半球で広く繁殖する。日本には夏鳥として渡来し、種子島以北の全国で繁殖するが、北海道では道南にほぼ分布が限られる。静岡県などに越冬個体群があることが知られ、これは大陸で繁殖する腹部が赤味を帯びた亜種と推定されている。</td></tr>
<tr><td>生活</td><td>市街地や集落に棲息し、商店や住宅の軒先、牛小屋、歩道橋、駅、ガレージなどの人工建造物に営巣する。もともとは自然の岩礁や洞穴に巣を作ったものと思われるが、そうした所で巣が見つかった例はない。巣は地上に下りて集めた泥と枯れ草を材料に作られ、椀形をしている。餌は空中を飛ぶ昆虫で、急旋回を交えた巧みな飛翔で捕まる。産卵期は 4～7 月、卵数は 3～7 個、抱卵日数は 13～18 日位、巣立ちまでは 20～24 日位である。</td></tr>
<tr><td>声</td><td>巣の近くの電線にとまって「チィチュロリ、チュリチュリ、ジュリリ」など、時々濁った声を混ぜながら早口にさえずる。この声を「土くって虫くって、渋い」と聞きなしている。警戒する時には「ツピーツピー」と鋭く鳴くという。雛は「ジジジジ」と鳴く。</td></tr>
<tr><td>見分け方</td><td>背は全体に黒く、額とのどは赤褐色。</td></tr>
<tr><td>時期</td><td>

(月)	ー	ー	3	4	5	6	7	8	9	10	ー	ー

</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>全長 (L) 17cm　翼開長 (W) 32cm</td></tr>
<tr><td colspan="2">参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥</td></tr>
</table>